

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム「ひまわり」

作成日：平成 24年 3月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議では、震災を体験した事を踏まえて地域の一員として地域活動に参加させていただく事となった。防災体制構築に向けて、こちらからも多くの方々に参加していただけるような取り組みを行っていきたい。	地域の抱える問題にも積極的に関わり、防災体制構築へ向け、より一層地域との交流を深める。	運営推進会議だけでなく、地域の多様な方々に関心を持っていただけるような取り組みを開催する。	12 か月
2	36	現在の「ひまわり」の認知症ケアの質に満足することなく、常に向上心を持って、日々のケアに務めなければならない。	職員が常に向上心を保てるように、「ひまわり」内のチームワーク、チームケアに力を入れる。	毎月2回のひまわりミーティングで職員みんなで意見を出し合いケアプランを作成し、JCPAT等を用いて、日々のケアを客観的に評価し、認知症ケアの質の向上を高める。	12 か月
3	23	お年寄りの思いや願いの把握、ドリームアゲインの実施に努める。	年1回のドリームアゲインの実施。	お年寄り一人ひとりに対し担当職員が決まっているが、ドリームアゲインの未実施のお年寄りもいる。担当者が中心となり全職員でケアプランに参画し、ふるさと訪問や旅行などドリームアゲインの実施につなげる。	12 か月
4	35	この度の震災を機に、火災や地震を想定した避難訓練を月1回行っているが、風水害時については未実施である。また、災害時に地域と協力体制をとれるよう働きかける。	災害時の職員の動きのマニュアル化に取り組むとともに、さまざまな災害を想定しての訓練を行う。	マニュアルの作成については法人を挙げて取り組んでいる。さまざまな災害時の訓練の実施、地域との連携も粘り強く働きかける。	12 か月
5	40	食事を楽しめるよう、お年寄りの嗜好に配慮した季節感のあるメニューにし、お年寄りや職員共同で食事づくりを行えるよう力の発揮に努める。	調理や盛り付け・後片付けを共同で行う事で力の発揮に努めるとともに、メニューに工夫を加え美味しい食事を食べる喜びを味わっていただく。	「美味しいものを食べられるうちに」との思いから、旬の食材を使う事を心掛け、外食や出前で豪華なメニューを注文している。お年寄りが出来る事は極力やってもらい、食事を楽しんでいただく。	12 か月